

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.198

2023.8

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次CONTENTS

定例会概要	2
委員会審査概要	3
答えて市長！一般質問	4
議員提出議案(意見書)	8
請願	9
特集 議会での発言をチェックしてみよう！	10
審議結果	11

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検 索



6月定例会 概要

令和5年度吉川市一般会計補正予算を可決

令和5年6月定例会は、6月2日から6月16日までの15日間の開催となりました。

今定例会では、令和5年度吉川市一般会計補正予算（第3号）などの市長提出議案12件（2ページ）、2件の意見書（8ページ）と1件の請願（9ページ）などを審議し、議決しました。（審議結果は11ページ）

その他、「市政に対する一般質問」（4～8ページ）、特集ページでは会議録検索システムについて（10ページ）お伝えします。



令和5年度 一般会計補正予算

▽各種給付金、支援金

エネルギーや食品等物価高騰の影響を受け、市では各種給付金や支援金を交付する等、様々なサポートを行います。主な対象や給付額については、次のとおりです。

◆食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業

1億8900万円

令和5年度住民税非課税世帯へ1世帯3万円の給付金を支給します。

◆よしかわくらしサポート商品券給付事業

2771万円

令和5年度住民税均等割のみ課税世帯へ1世帯2万円の商品券を給付します。

◆子ども未来応援商品券給付事業

4933万1000円

市内の0歳から18歳の子どもたちに、1人あたり3000円の商品券を支給します。

◆農業振興事業、商業活性化推進事業

5097万1000円

物価高騰等の影響を受けている市内中小企業及び個人事業主並びに販売農家に対して、燃料や光熱費に係る経費の一部を支援します。

◆障がい者福祉施設支援事業、高齢者福祉等支援事業、幼児教育・保育施設支援事業

1590万2000円

経費の増大が生じている市内の障がい者関連施設、高齢者施設、民間保育所及び幼稚園に対して福祉施設等事業継続支援金を交付するものです。

◆公共交通機関整備改善推進事業

985万4000円

燃料価格高騰の影響を受けているバス、タクシー事業者に事業継続のための支援金を交付します。

また、小学生から高校生までの子どもたちにバスチケットを配付して、バス利用促進の取り組みを行います。協力するバス事業者に対してバス利用促進支援金を交付します。

主な議案のあらまし

◆財産の取得について

水害対策用として移動式排水ポンプを取得するものです。既存の大型排水ポンプが経年劣化による故障をしたことに伴い購入します。堤防に配置し、大雨時における市内の雨水を河川へ排水します。

◆工事請負契約の締結について（市民交流センター）

しす長寿命化（中規模）改修工事（建築・機械設備）市民交流センターおあしす

の改修工事を行います。屋根や外壁の防水処理等の建築に関する工事と、空調等機械設備の改修工事を行います。工事は休館日に実施し、できるだけ利用者へ影響が出ない工程で行う予定です。

◆専決処分事項の承認について（吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

国の法令改正に伴い、「吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」を専決処分したため、承認を求めます。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法

国保は他の医療保険制度と比べて著しく不公平で、住民に大変重い負担を強いる制度です。国保税や限度額の引き上げだけでは、国保の構造的な危機を打開することはできません。国庫負担の増額をさらに求めるべきです。

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆一般会計補正予算

バス利用促進支援金について、バス路線網の拡充についての見解は。

コロナの影響による利用者減、燃料費高騰等、事業継続に影響があると事業者から聞いている。そうした中でバス路線の拡充は需要がないと難しいと考える。引き続きバス事業者との協議の中でバス路線の最適化を検討していく。

市内バス事業者6者全てがこの事業に参加するのか。

市内の駅を発着しているバス事業者6者とも参加の意向を示している。

対象者の手元に届く時期は。

7月下旬頃の郵送を予定。

公共交通事業継続支援金活用の効果は。事業者へのヒアリングの状況は。

支援金交付後の事業者への

確認は行っていないが、今後の事業継続全般として支援金を交付している。

◆新型コロナウィルス感染症対応

地方創生臨時交付金のうち、推奨事業メニュー分の交付限度額に対し市の事業費が上回っている。予算編成の考え方は。

交付金の目的に応じて必要な事業を組み立て、交付金を最大限に活用できるように予算編成している。

賛成全員で可決



委員会報告を行う戸田委員長

文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

よしかわくらしサポート商品券給付事業について、この事業はこれまで商工部門が実施していたが、今回は福祉部門とのこと。目的と給付方法は。

今回の商品券給付は低所得世帯への生活支援が主な目的であり、さらに臨時交付金の推奨メニューにもなっている地域経済の下支えを行う観点から商品券での給付とした。給付方法は、直接対象者に送付する。

◆新型コロナワクチン接種に

関して、少し前に中学生が接種により死亡したとの報道があったが、ワクチン接種のリスクやメリット・デメリットの周知はどのように図っていくのか。

これまでどおり、接種券に案内文を同封し、接種について十分検討していただけるようにしている。

◆給食費減免等の考えはあるか。

現時点では、価格高騰はいつまで続くかは不透明である。今

後も引き続き子育て家庭へ影響が及ばないようにしていきたい。

賛成全員で可決



委員会報告を行う吉川委員長

建設生活常任委員会

◆財産の取得について

市内に配置されている排水ポンプの台数は。

大型排水ポンプ車が3台ある。

老朽化している排水ポンプはあるのか。

大型排水ポンプ車は全て同じ時期のものである。

大型エンジンポンプ車の購入年、不具合発生時の時期は。

昭和60年製で、職員の点検で不具合が判明した時期は令和4年8月であるが、メーカーに詳細調査を依頼して、

修理不可能との報告を受けたのは11月末である。

ポンプの不具合は突然に発生したのか。

職員による毎月の点検で、突然発生した。

メーカーから修理不可能との報告があった後は、どのような対応をしたのか。

報告を受ける前から、同等性能のポンプの在庫確認、デモンストレーション用排水ポンプ車の調達依頼、国交省への機材借入れの相談等を並行して実施したが、受注生産であり、災害発生前の機材貸し出しはできない等でポンプの手配ができず、新規購入するポンプの機器選定に移行した。

賛成全員で可決



委員会報告を行う稲葉委員長

一般質問

答えて市長！

一般質問

一般質問とは、議員が広く自治体の事務一般を対象として、執行の状況、将来の方針を執行機関である市に問いただすものです。質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

今定例会では、6月14日(水)、15日(木)、16日(金)の3日間にわたり16名の議員が市政全般について、市の見解を問いただきました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、9月上旬となる予定です。

本会議の
録画配信は
こちらから



保育の質向上に向けた 評価スケールの導入

林 美希



問 「保育所等における虐待等の不適切な保育への対応の実態調査」の結果は。

答 全国市町村計 2313 件のうち当市は 2 件。施設関係者による通告で発覚。調査結果のうち 1 件は不適切ではなく、もう 1 件は不適切と判断。

問 保育環境の質の向上のため、保育の質評価スケールの実施を求めるが、見解は。

答 私立認可保育園協議会と情報交換や研修を実施しているので、その中で評価スケール等紹介していきたい。

問 評価スケールをどう調査したか。

答 この一般質問を機に実施自治体へ連絡した。評価を行う負担もあり、メリット・デメリットともにあるが、保育の質向上への有効性が高いと認識をしている。

問 私立認可保育園協議会への紹介のみならず、公立保育所から実施に向けた研究を進めていただけないか。

答 市としては市内全園の保育の質が高まっていくことを第一に考えている。まず公立園スタッフを中心に事例等研究し、保育園協議会に情報提供をしていく。

自転車利用者の安全確保へ 矢羽根マーク設置を研究

降旗 聡



問 自転車での事故ゼロを目指すため、自転車専用レーン設置推進と、既存の生活道路への青い矢羽根マーク設置について見解を伺う。

答 自転車専用レーンの設置について、既存の道路では道路用地の拡幅や道路構造を変更するなどの課題があるため、「自転車道」や「自転車専用通行帯」を設けることは難しいものと考えているが、新たな道路を整備している吉川美南駅東口周辺地区においては、幹線道路の一部で「自転車道」を設置していく。

また、矢羽根マークの設置については、吉川美南地区の「みなみ通り」の一部に設置している。さらには、吉川美南駅東口周辺地区の幹線道路の一部にも設置していく。

今後においても、新たに道路整備をする場所や、駅につながるアクセス道路などで、自転車の通行状況や、一定区間の連続性を踏まえながら、設置可能な箇所について研究していく。

問 中央公民館の北側と南中学校北側道路に矢羽根マークの設置について見解を伺う。

答 警察と協議し、設置の可否について研究していく。

QOL向上を目指した トータルの補助制度創設を

五十嵐 恵千子



問 QOL(クオリティ・オブ・ライフ)とは、人生の質や社会的にみた「生活の質」を指している。過去から、加齢性難聴者への補聴器購入補助やがん患者へのウィッグ購入補助、带状疱疹ワクチン接種補助等、多種多様な要望がある。それらの市民要望を広くトータルの捉え、市民ニーズに応える制度の創設を。

答 支援対象や内容を限定的に捉えず、広く支援を行うことが可能となる一方で、サービスの合理性や公平性を確保することが必要となるので、これらの点を踏まえて検証する。

◆電力・ガス・食料品等の価格高騰政策を

問 国からの追加臨時交付金を使い、物価高騰対策継続で市民の暮らしを守ろうと、3月28日に緊急要望書を市長へ提出し、今回の補正予算に全て計上していただいた。内容決定までの経緯と今後は本市独自で支援事業の継続を。

答 「命をまもる」「生活を支える」「地域経済を後押しする」の3大理念や交付金の趣旨を踏まえ、最適な支援を検討した。今後は、少子化対策の内容を踏まえ、必要性を検討する。

学びの保障に向けた不登校 対策COCOLOプラン

大泉 日出男



問 当市の教育委員会は、不登校の子どもの保護者に対してどのような取り組みをされているのか。

答 日頃より相談体制を築いており、様々な媒体で情報提供に努めている。

問 本プランの中で、教室へ行きづらくなった児童生徒が、学校内で落ち着いて学習ができる環境「スペシャルサポートルーム」等を配置すべきだとしているが、どう考えているか。

答 専用の場所のほうが望ましい。実施に向けた検討を行っていきたい。

問 学校の授業を①児童生徒の自宅②校内スペシャルサポートルーム③教育支援センターに配信し、オンライン指導ができる指導体制を確立すべきと思うが現状と今後の課題は。

答 指導を個別に行う事は困難だが、全ての児童生徒が受けられるように努める。

問 学びの保障に向けて成績に反映させることが重要。当市での中学校における現状と今後の取り組みについて伺う。

答 現状は難しいが、個々の希望に応じた進路に向けて丁寧に支援をしていく。

災害への備え 市発注工事について

赤出川 義夫



問 災害時応援協定の内容と状況は。

答 民間事業者と76件締結、一時避難場所として施設利用、食料や飲料水・段ボールベッドなど生活必需品の供給や、インフラやライフラインの復旧活動や医療・救護など協定を締結している。

問 市内・市外事業者の建設・土木工事の発注件数と金額、割合は。

答 令和4年度130万円を超える建築・土木工事の発注件数は67件、発注金額総額29億4千万円、市内事業者及び市内に営業所を有する事業者54件、発注金額21億円、受注件数の割合は約80%、金額の割合は約79%。

問 建設・土木工事の分割発注、総合評価方式で市内事業者の令和2年度以降の受注機会推移は。

答 市内事業者の分割発注は、令和2年度9件で約12億2千万円、令和3年度12件で約7億4千万円、令和4年度12件で約12億2千万円。総合評価方式発注は、平成19年度から導入。令和2年度10件で約23億5千万円、令和3年度9件で15億7千万円、令和4年度12件で約11億円。

新規バス路線及び移動支援 買い物支援について

小野 潔



問 ①吉川美南駅東口ときよみ野を結ぶ新規バス路線運行に向けた状況。②道庭・中曽根地域への吉川美南駅発着の新規バス路線の協議状況。③「地域で取り組む移動支援団体」への具体的な支援制度と展望。④民間事業者の移動販売との自治体や自治会等によるタイアップは。

答 ①運行経路、バス停、本数を協議、令和5年度中に運行開始。②運行に向け事業者と協議中。③補助金、市所有車両の貸し出し制度を構築し1団体へ補助している。今後は南側地域に広がる可能性を視野に入れ、活性化を図る。④行政による資金面での支援は慎重であるが、自治会をはじめ地域の方々との連携や販売者の駐車場の確保など協力できるものとする。

◆産業振興及び事業者育成

問 ①産業振興条例、計画には「事業者育成」の文字が見受けられないが、記載を。②公共工事入札の地域要件を八潮市並みにし、市内事業者が応札しやすいように。③市内事業者優先発注に係る実施指針や方針の策定を。

答 ①②とも難しい。③研究する。

一人暮らしの高齢者などの ペット対策

菊名 克典



問 一人暮らしの高齢者などがペットを飼えなくなったことについて、市民からの相談はあるのか。また、市の窓口で相談できるシステムがあるのか。

答 直近一年では一件の相談があった。ペットの飼育に関しては、飼い主が終生飼育をし、やむを得ず飼育ができなくなった場合は、自分で新たな飼い主を探すことが原則である。何らかの理由で対応が困難な場合には、県の保健所や動物指導センターが相談窓口となっているので、必要に応じて関係機関を案内している。

問 相談をする際に、ケースに対する相談窓口をまとめたリーフレットがあれば、飼い主の安心や民生委員・ケアワーカー等が相談された際に渡すことができる。そのためにも作ったほうがいいのではないか。

答 現在市では、ホームページで犬・猫の相談窓口を案内している状況。リーフレットについては、県で民生委員・ケアマネージャーを対象とした啓発チラシを作成しているので、県から提供があり次第、関係部署で共有し、活用できればと考えている。

アクアパークの改修・整備 の内容について

成本 直寛



問 吉川市において、非常に人気が高いアクアパークについて、この度、改修・整備を行うとのことだが、開設してから何年になるか。また、スケートボード施設整備工事についての内容を伺う。

答 アクアパークは市民の方からの意見を受け、平成14年8月に開設し今年で22年目になる。現在のスケートボードの設備は上級者向けとなっていることから競技を始めたばかりの子どもも楽しめるよう高さを抑えたボックス、斜面の角度が緩やかなクォーターを新たに3基設置する。経年劣化による床面のザラツキの補修については今回の整備では予定していないが、状態を注視していき、施設利用に支障がないよう対応していく。

問 バスケットボールコート路面撤去工事について内容を伺う。また、新たにコートを作成する際に、オリンピック競技でもある3×3との兼用が可能なコートを作成する計画はあるか。

答 コート内の塗装面を剥がしてリノベーションする。3×3専用コートの予定はないが、有効活用できると考えている。

学校図書館の更なる充実を

雪田 きよみ



問 昨年3月議会では、各学校の新聞の配架について「埼玉新聞を職員室に置いている」との答弁でした。22年度からの第6次学校図書館図書整備5カ年計画は、小学校2紙、中学校3紙と明記しています。現在の配架状況は。

答 小学校8校中3校が2紙以上、中学校4校中1校が3紙以上配架しています。一般紙は職員室に、子ども新聞等は図書室に配架しています。

問 2022年度から図書館に配架する新聞について交付税措置されるようになり、国も教育現場での新聞の意義を高く評価しています。図書室に新聞を配架するべきではないでしょうか。

答 児童生徒の需要、先生方の意欲等もお聞きしながら検討します。

問 蔵書について、文科省が示す「蔵書基準」はクリアされているのでしょうか。

答 新設の吉川中学校以外は学校図書館図書標準を達成しています。図書標準では14,560冊必要なところ9,647冊（昨年状況）という状況。新しい学校であり、廃棄図書がないので、数年経てば図書標準は満たしていけるものと考えています。詳しい計画は立てていません。

コロナウイルス 感染症への対応

稲垣 茂行



問 これまでのワクチン接種の総括を。

答 多くの市民に短期間で接種するため、集団接種を中心に会場はおあしすと中央公民館とした。

実施にあたり、医師会と緊密に連携し医師・看護師の派遣をはじめ万全の接種体制を整えた。

コールセンターも接種会場同様、業務委託せずに市が直接運営。トラブル等にも速やかに対応ができて、同時に経費抑制にも繋がった。

問 ワクチンの対象別接種率から見たことは。

答 高齢者や重症化リスクの高い方が多い。ワクチン接種の効果は、発症や重症化を予防し、死亡者や重症化の発生抑制に貢献した。

問 令和5年度春の実施状況と秋の計画は。

答 5月8日から中央公民館と保健センターで65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方等を対象に実施中。秋接種の詳細は未定だが、9月開始を目途に、おあしすの活用も検討している。

問 コロナ受診・相談への市の対応は。

答 発熱等の症状の場合は「県指定診療・検査医療機関システム」の登録機関。他の相談は、県の「コロナ総合相談センター」を案内。

バリアフリー投票の 取り組みを

飯島 正義



問 ①これまでの選挙で郵便投票ができる方は、要介護5など条件が厳しすぎます。対象拡大を国に申し入れすべきではないでしょうか。②市内19カ所の投票所は、車椅子の移動が可能のように段差などが解消されていますか。③吉川市長選挙の選挙当日の投票用紙は、候補者名が印刷された記号式投票を導入しています。他の選挙でも採用する考えはありますか。

答 ①国の制度なので動向を注視していきます。②集会所の3カ所はスロープがありませんが、人的配慮で介助し投票ができるようにしています。歩行が困難な方へ介助者を配置しています。③候補者が増えると文字が小さくなり判断しにくいいため、導入は考えていません。

◆子どもの居場所・児童館にエアコン設置を

問 小中学校体育館・総合体育館にエアコン設置が決定しましたが、児童館の遊戯室（体育館）へのエアコン設置計画について伺います。

答 災害時は遊戯室が避難所としても使われます。令和5年1月にエアコン設置の方針が決定、今後整備していきます。

高齢者等とペット問題について

稲葉 剛治



問 近年ペットの存在はより大きくなっている。一方でペットの飼育放棄など年々深刻な問題が起きていると耳にすることも増えている。

この背景には飼い主の方の高齢化や障害、経済的困窮、社会的孤立などの要因が複雑に絡み合っている場合がある。こうしたことに目を向けて取り組みを進める必要があると考えるが、見解と今後の取り組みについて伺う。また、関係部署間が連携できる体制も構築する必要があると考えるが見解は。

答 市では、エンディングノートなどを活用し、高齢者がお亡くなりになった後のことについて考えていただく終活の推進に取り組んでいるので、ペットが残された場合についても、終活の一環として考えていただけるようご案内していく。また、認知症などによって、ペットの世話が行き届かなくなり、衛生面や動物愛護の観点から、不適切な飼育状況が発生することも課題であると考えている。ペットの不適切な飼育も健康的かつ文化的な生活を脅かす課題であることを認識し、そのような状況を把握した際は、関係機関と連携を図り、解決に取り組む。

有機農業の推進について

岩崎 小百合



問 令和3年に国が、将来にわたって食料の安定供給を図る為に策定した「みどりの食料システム戦略」の中で、2050年までに有機農業を耕地面積の25%（100万ヘクタール）に拡大、2040年までに主要な品目を農業者の多くが取り組める次世代有機農業技術を確立するといった目標を掲げている。市内の耕地面積の内、有機農業の耕地面積の割合は。

答 日頃より情報交換を行っている有機農業者の耕地面積から算出すると約0.2%である。

問 今後の有機農業推進に向けた取り組みは。

答 今年3年に策定した「埼玉県環境負荷低減事業活動促進基本計画」に沿って県と協力・連携を図りながら検討する。

◆学校給食の地産地消について

問 令和4年度の吉川産の米、野菜の使用状況は。（頻度、量、献立、品目）

答 お米（コシヒカリ）は100%、野菜は11品目吉川産を使用。使用頻度の高い小松菜は85%以上、献立は月に10日程度、全体では半数以上の日で、吉川産野菜を使用している。

ワクチン接種券の一斉送付を止め、申請制に

吉川 敏幸



問 米国オハイオ州にある世界2位のクリーブランドクリニックの研究では、新型コロナワクチンを打つほど罹患することがデータで明らかになっている。また、名古屋大学の小島勢二名誉教授によれば、Our World in Dataのビッグデータを用いて超過死亡の要因を研究したところ、追加接種の回数が多いほど、超過死亡が多いことを示しているとしている。世界一ワクチンを打って、世界一コロナに罹患したのが日本である。今後も接種券の一斉送付をするのか。

答 様々な論文や研究データがあることは、本市としても承知している。それらは国が検証すべきものと考えている。接種対象者がメリット・デメリットを理解した上でご自身で判断し、円滑に打てるようにすることが重要であると考えている。今後も正しい情報と併せて接種券を送付する。

◆女性専用トイレの維持を

問 市は今後、女性専用トイレを廃止して新たに共用トイレを設置する考えはあるのか。

答 女性専用トイレの廃止は考えていない。

**商業・業務ゾーンの
事業者公募の日程は**



遠藤 義法

問 吉川美南駅東口周辺地区の商業・業務ゾーンへ病院含む開発の進出計画が表明されています。病院の開設の期日は2026年3月と決まっています。事業者公募の時期を伺います。

答 夏には企業の公募を開始し、来年3月までには企業を選定します。手続きの中で選定期間を短縮できることもあります。

問 商業施設の屋上に防災機能を備えた遊具を併設、遊びながら防災を学べる企画など、事業者に紹介するのも一案ではないでしょうか。

答 事業者と意見交換するなかでアドバイスすることはできます。

◆住民の声を活かした水防センターに

問 玉葉橋脇に市が設置する水防センターの協議がすすんでいます。住民要望や施設を活かした防災拠点の今後の計画を伺います。

答 避難所にとの要望はありますが、災害時は重機などでの緊急作業が行われるので検討中です。平時は、市民や児童生徒の減災教育の場として、また、サイクリングや散歩を楽しむ方々の休憩の場所として協議しています。

**旧庁舎跡地の福祉拠点計画
必要や実現性。財政負担は**



伊藤 正勝

問 先に旧庁舎跡地について「福祉拠点整備基本構想」の提示があった。その後の進展を伺いたい。

答 今年度は外部有識者や市民を含めた検討委員会を設置し「施設に導入する機能」や「事業手法等」について検討する。

問 新たに福祉の拠点を設ける必要性とその実現性について伺いたい。

答 庁内では「地域コミュニティを支える拠点」、「多様化複雑化する福祉の課題」に対応する必要等の意見。財政負担については民間活用の方針のもと事業手法を踏まえ今後試算をする。

問 今年度予算に業務支援として770万円余が計上されている。総合振興計画には盛り込まれているのか。

答 業務支援については現在コンサルに発注している。総合振興計画の実施計画にも追加し盛り込んでいる。

問 児童生徒の減少で空き教室も目立つ。既存の公共施設の有効活用にもっと目配りするべき。未利用の施設はないのか。

答 未利用の公共施設は見当たらない。

議員提出議案

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には、2件の意見書が提出され、次の1件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

学校給食費の無償化を国の施策として行うことを求める意見書

学校給食法第2条に定める学校給食の目標の達成に向け、学校では給食を通じた食育が行われてきています。その意義は大きく、教科学習とともに学校教育の大きな柱となっています。

日本国憲法第26条第2項や教育基本法第5条第4項により、「義務教育は、これを無償とする」と定められています。しかし実際には、教材費、制服、体操着、学用品、給食費、修学旅行積立金などを家庭が負担しており、令和3年度学校給食実施状況等調査によると全国平均で小学校が年間4万9247円、中学校が5万6331円と給食費が大きな負担となつていきます。

食料費の負担を必ずしも保護者に求めなくてもよい旨が記載されています。文部科学省が実施した「平成29年度『学校給食費の無償化等の実施状況』及び『完全給食の実施状況』によると、1740自治体のうち、小学校・中学校ともに無償化を実施している自治体は76、小学校のみ実施の自治体が4、中学校のみ実施の自治体が2、一部無償化・一部補助を実施している自治体が424と報告されています。最近では、小中学校ともに無償化を実施している自治体は260との報道もあり、保護者への支援の取り組みが広がってきています。

よって、子育て世帯の経済的負担を軽減し、学校教育の柱の一つでもある食育推進の効果も大きい学校給食費の無償化を国の施策として行うことを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。



請願

請願とは、国民に認められた憲法上（第16条）の権利の一つで、国または、地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べることを言い、その手続き等は、請願法によります。市議会への請願には、市議会議員の紹介が必要です。

今定例会では、1件の請願が提出され、採択となりました。請願と討論の内容をお伝えします。

押しボタン式信号機と横断歩道の設置を求める請願



【要旨】

都市計画道路越谷吉川線の中央中学校南側、栄町1327番地先には当初より押しボタン式信号機による横断歩道が計画されていましたが、当該地の供用開始から約5年間にわたり押しボタン式信号機が設置されず、横断歩道予定地は閉鎖されたままとなっております。現在、通行止めバリケードが設置されていますが、横断する人も見つけられ危険な状態となっております。

つきましては、当該交差点への早急な押しボタン式信号機と横断歩道の設置を関係機関に強く求めていただくよう請願いたします。

【理由】

当該地域は、越谷吉川線が整備される以前は居住地としての一体性もあり、日常的に買い物や通院などで往来していました。土地区画整理事業に伴い越谷吉川線が整備されるに当たり、当然、押しボタン式信号機と横断歩道の設置など通行の安全を

図っていたけると受け止めていました。

しかし、今日まで押しボタン式信号機と横断歩道の設置の見直しもありません。未だ横断する人もおります。また、車を運転する立場からは夕刻、夜間などは見えにくく、大変危険であり不安です。横断できない不便さ、住みにくさと交通の危険を抱えての日々を市民は過ごしています。

このような状況を一刻も早く改善し、越谷吉川線の全線開通を待たずに押しボタン式信号機と横断歩道の設置をお願いします。

賛成全員で採択

― 賛成 討論 ―

未来会議よしかわ

林 美希

本会議において令和元年以降6回は取り上げられた本件、市も必要性を認識し県に求めているが実現に至っていない。全会一致での可決に向け賛成とし、県の尽力に期待する。

紹介議員

飯島 正義 議員
齋藤 詔治 議員
降旗 聡 議員
成本 直寛 議員

提出者 越谷吉川線・栄町1327番地先に信号機設置を

求める会

代表 小林 今朝文

他1847名

議会の開会から閉会までの流れ

第3回（6月）定例会の場合

- ▼開会日（6月2日）
議案を上程し、市長が提案理由を説明しました。
- ▼議案審議（6日）
議案について議員が不明点や疑問点を質疑しました。
- ▼常任委員会（7日・8日）
付託された議案を総務水道・文教福祉・建設生活の3委員会で審査しました。
- ▼請願審査（9日）
1件の請願を建設生活常任委員会で審査しました。
- ▼委員長報告（13日）
議案と請願を採決しました。
- ▼一般質問（14日・15日・16日）
16名の議員が市政について問いただしました。
- ▼意見書（16日）
2件の意見書を審議し、1件可決しました。
- ▼閉会日（16日）
定例会に付議された案件をすべて審議し、閉会しました。

特集 議会での発言を チェックしてみよう!

Check!

3つの方法があります

①インターネットで会議録を閲覧できます

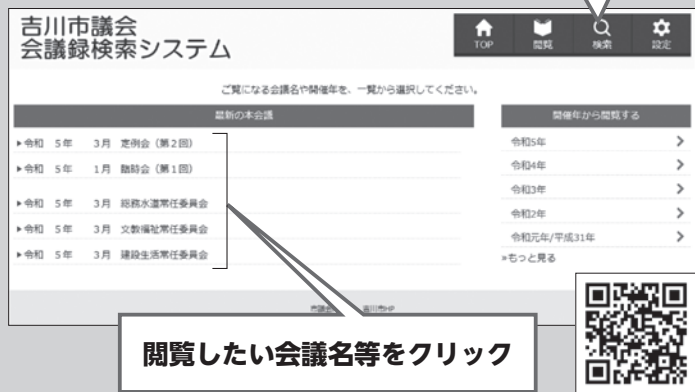
検索条件のときは虫めがねマークをクリック

市のホームページの「市議会」のメニューから「会議録検索・閲覧」を選択してください。

開いた画面の「吉川市議会会議録の検索・閲覧はこちらをクリックしてください（外部リンク）」をクリックしてください。

右の画面が開きますので、ご覧になる会議名や開催年を選択してください。

画面右上の虫めがねのマークを選択すると、「検索条件」を指定してキーワードなどから会議録の検索を行うこともできます。



閲覧したい会議名等をクリック

NEW! 会議録検索システムで「委員会の会議録」も閲覧できるようになりました。

これまで、本会議の会議録のみインターネットで公開していましたが、令和5年3月定例会分からは、委員会の会議録もご覧いただけようになりましたので、ぜひご活用ください。

平成15年以前の「本会議の会議録」、令和4年以前の「委員会の会議録」は、冊子で保管されています。これらの会議録は、市立図書館や議会事務局図書室で閲覧できます。



委員会での審査の様子

委員会ではどんなことが話されているの？

委員会は、本会議から付託された議案や請願などを詳細かつ専門的に審査しています。

また、委員会の審査では、本会議に比べて自由な発言が認められています。

委員会での審査の結果は、報告書にまとめられ、本会議で委員長報告が行われます。

②本会議の様子を動画で視聴することができます

③本会議・委員会も直接傍聴できます

市ホームページの「市議会」のメニューから「議会中継」を選択してください。

動画を視聴するには、以下の方法があります。



- ライブ中継
- 録画映像（動画編集の都合上、本会議の日から3日目以降に視聴できます。）



議会は、3月・6月・9月・12月の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催されています。

本会議は午前10時から、委員会は午前9時30分から行われ、傍聴することができます。

9月定例会の日程は12ページに掲載していますので「次定例会の予定」でご確認ください。



6月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長（議決に加わりません）
◎=議案提出者、◇=紹介議員、- =退席

	議決結果	自由民主党					市民の会				未来会議			共産		公明		無		
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	菊名 克典	中嶋 通治	松崎 誠	岩崎 小百合	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛
＜市長提出議案＞																				
専決処分事項の承認について（吉川市税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認について（吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
専決処分事項の承認について（吉川市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認について（令和5年度吉川市一般会計補正予算（第2号））	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について（吉川美南駅東口周辺地区駅前広場工事（その2））	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について（市民交流センターおあしす長寿命化（中規模）改修工事（建築））	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について（市民交流センターおあしす長寿命化（中規模）改修工事（機械設備））	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
＜請願＞																				
押しボタン式信号機と横断歩道の設置を求める請願	採択	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	◇	○	○	○	○	○
＜議員提出議案＞																				
「健康保険証の一律廃止」の撤回を求める意見書	否決	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	○
学校給食の無償化を国の施策として行うことを求める意見書	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	◎	○	○	×	×	×	○

* 会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、の略です。「無」は会派に属さないものです。

次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。					9月1日 本会議 (開会日)	9月2日 休会日
9月3日 休会日	9月4日 休会日 (議案調査日)	9月5日 本会議 (議案審議日)	9月6日 本会議 (議案審議日)	9月7日 休会日 (議案調査日)	9月8日 委員会 (総務水道・文教福祉)	9月9日 休会日
9月10日 休会日	9月11日 委員会 (総務水道・文教福祉)	9月12日 委員会 (建設生活)	9月13日 委員会 (建設生活)	9月14日 委員会 (請願審査)	9月15日 休会日 (委員長報告作成日)	9月16日 休会日
9月17日 休会日	9月18日 休会日	9月19日 本会議 (委員長報告)	9月20日 本会議 (一般質問)	9月21日 本会議 (一般質問)	9月22日 本会議 (一般質問・閉会日)	

傍聴時のお願い

- 静粛にすること ● 議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
- 騒ぎ立てる等議事を妨害しないこと ● 携帯電話等の電子機器の電源を切ること ● 係員の指示に従うこと

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルさんもくせい」の協力で作成しています。
 ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

編 集 後 記

3年余に及ぶ「新型コロナ」の世界的流行で、私達の暮らしや経済活動
 が多くの制約を受け、不自由な生活を余儀なくされました。
 授業や会議等がリモートで行われ、自宅での勤務もありました。スポー
 ツ観戦やオリンピック競技まで「無観客」で開催されたのは思いもよらぬ
 ことでした。社会全体が不自由となったのは、戦後世代にとっては初めて
 の体験だと思えます。

5月8日から「新型コロナウイルス」は、季節性インフルエンザと同じ扱いとなり、
 かつての「日常」を徐々に取り戻しつつあります。

6月定例会では、執行・議員全員が自席に着きました。久しぶりに見る「ま
 ぶしい」光景でした。

稲垣 茂行

表 紙 の 写 真

写真は、埼玉県防災航空隊の防災ヘリコ
 プターを使つての水難救出救助訓練の様子
 です。主催は江戸川水防事務組合で、吉川・
 三郷・松伏・春日部の4市町で構成されて
 います。

毎年、輪番で開催され、今年の江戸川水
 防演習は5月27日(土)に松伏町営運動場
 (江戸川河川敷・築比地地先)で実施されま
 した。局地的豪雨の発生件数は年々増加傾
 向にあり、日頃から河川の氾濫や浸水被害
 に対する備えが重要となつてきています。

